

Since 1922

自然と手を 心の通った 合わせたくなる お仏壇を生む技と心



Vol.12
あとう仏壇製作所

本店ショールーム
東京都台東区台東 3-27-11
TEL 03-3835-8777
http://www.atou.co.jp/



1 創業者である阿藤要氏。職人の組合組織である東京唐木仏壇工業協同組合の設立にも関わる



2 東京都伝統工芸士に認められた二代目、阿藤忠保氏。確かな技術で生み出された仏壇作りで、数々の受賞歴を誇る



3 江戸時代からの伝統的な技法を用いて製作された、東京都指定・伝統工芸品である東京仏壇。最高の木地に細部にまで彫刻が施されている



6 洋室に置かれることが多くなったお仏壇。その部屋に合わせた色合いやデザインで製作する。新しいデザインの物にも確かな職人の技術が息づく

4 昭和58年(1983)に百貨店で開催された伝統工芸展で店頭に立つ三代目の阿藤広行氏。店頭で直接お客様に本物の良さを伝えている



7 佐竹商店街にある店舗。遠くは九州など全国からオリジナルのお仏壇を求め、多くの人々が訪ねている

5 現在代表を務める阿藤広行氏。様々な思いや事情を持つお客様一人一人に合ったお仏壇を提案してくれる



台東区は古くからの職人町として知られ、今も多くの伝統技術が受け継がれている。その台東区にある佐竹商店街は、東京で最も歴史のある商店街である。ここに店を構える「あとう仏壇製作所」は、お仏壇の「本質」を職人の技を通して現在に伝えている。

かつては、家の中心にあったお仏壇が存在しない家庭も増えている今。「本物のお仏壇は自然に手を合わせたくなるお仏壇」という、先代の思いを胸に、三代にわたって日本の文化を広めている。華やかな装飾よりも厳選された木地の良さを

創業者阿藤要氏は、大正時代の初めに上野の仏壇職人に弟子入りし、厳しい徒弟制度のもとで修業を積み技術を身につけ、大正十一年(一九二二)には独立を果たす。要氏は、大店の下請けとして厳しい条件のもとで仕事をしていった仏壇職人たちが、それぞれの力を発揮できるように、組合組織の構築に尽力する。そしてその組合で東京仏壇の設計図をつく

り上げる。それは、東京仏壇という江戸からの歴史ある伝統技術を後世に伝えるためのものであり、職人が技術を身につける上で欠かすことのできないものとなった。

二代目である阿藤忠保氏は平成四年(一九九二)に高度な伝統技術で「東京都伝統工芸士」に認定される。平成九年(一九九七)には東京都功労者として知事により表彰を受けている。創業者の意志を受け継いだ忠保氏は、黒檀や紫檀など銘木を使い伝統技術を守りながらも東京人好みのシンブルでモダンな仏壇製作を行う。生活スタイルが激しく変化する時代の中で、使う人の立場に立ち、機能性、使いやすさに目を向けることも忘れてはいない。心をこめて作られたそれらの作品は全国伝統的工芸品展等で数々の受賞に輝いている。

活かす東京都指定の伝統工芸品・東京仏壇の伝統を継承しながら、現代の生活スタイルにもマッチする新しいお仏壇を提案・製作している「あとう仏壇製作所」。創業から九〇余年、人々の心を動かす製品を生み続けている。

時代が移り変わっても心の通うお仏壇を

三代目広行氏は「どんなに時代が変わってもお客様のニーズに合わせた心の通ったお仏壇を作り続けていきたいですね」と語る。百人いれば百通りのお仏壇があつて然りと云う広行氏は、お客様の生活スタイルや故人への想いを聞き、プロの目から最適な商品を提案している。洋間に置いても違和感のないデザインや、椅子に座って手を合わせることができるとお仏壇などもある。

「仏壇」それは、私達が自分を支え、守ってくれた故人や先祖への感謝を伝える場所である。家族の繋がり、絆の大切さが叫ばれている今、改めて、その本当の意味、大切な心を見つめ直す必要があることを、下町の佐竹商店街にある「あとう仏壇製作所」は伝えている。

工芸品から家具調まで

暮らしにそっと寄り添う
現代のお仏壇

本店ショールームに展示されているお仏壇。細部の美しさが際立つ



優しい笑顔が印象的な、あとう仏壇代表の阿藤広行さん

あとう仏壇製作所

水曜定休 営業時間 10:00～19:00
都営大江戸線新御徒町駅・
東京メトロ日比谷線仲御徒町駅より徒歩5分
<http://www.atou.co.jp/>



本店ショールーム

東京都台東区台東 3-27-11 佐竹商店街
TEL03-3835-8777

小島店ショールーム

東京都台東区小島 2-6-3 (駐車場あり)
TEL03-3851-4440

お仏壇というものは奥が深い。日本人は古くから仏壇を、仏様や故人を祀るためのものとしてだけでなく、感謝の心や礼節の大切さ、そして世代から世代へと受け継がれる家族の絆を伝えるものとして、大切にしてきました。それは核家族が進み、生活様式が変化しつつある現代、より一層見直されつつある習慣だ。

とはいえ、実際に『我が家にお仏壇を』と思った時、どうしたら良いのか、なかなか判断がつかないのが現実である。度々買い換えるものではないからこそ、信頼出来る仏壇店に依頼したいもの。

昔ながらの下町の風情を今なお残す台東区の佐竹商店街で、三代に渡り九〇年以上仏壇店を営んできた「あとう仏壇製作所」は、そんな時、安心して相談出来る、温かな下町の老舗だ。

三代目の阿藤広行さんが大切にしてきたことがある。それは伝統工芸士でもあった先代・忠保さんの『自然に手を合わせる気持ちになれるものが本物の仏壇だよ』というシンプルな言葉に込められた姿勢だ。「設置される家の間取りや生活のスタイル、ご家族の希望に応じて、色んなお仏壇の姿があって良いと思うんです。一番大切に出来る形でのお仏壇のお誂えをお手伝い致します。まずはお気軽にご相談ください」

ショールームには、伝統美が美しい古来のスタイルから、現代の都市型生活にも馴染むモダンなもの、足腰が不自由な方にも手入れがしやすい電動式や、火事の危険が無いLED付きのものなど、多種多様なお仏壇が並ぶ。ずっと大切に出来るお仏壇の形が、ここならきつと見つかるはずだ。



ご先祖様へ感謝の気持ちが届くよう
素材を生かし、熟練の技を施した東京仏壇



上/佐竹商店街に建つ「仏壇 あとう」と四代目稔さん 左下/現代に残る伝統工芸を紹介すべく、「東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞」に出品した東京仏壇。外側は黒檀、内側にはケヤキが使われ、扉部分の左右対称の木目もすべて自然のものだ 右下/伝統的な仏壇から家具調のものまで、それぞれの生活スタイルに合わせた仏壇が並ぶ

「良い仏壇は、自然と手を合わせたくなるもの」
唐木と呼ばれる上質な素材で造られた仏壇は、木の温もりと厳かな空気をまとう
今在ることへの感謝を表す、それぞれの東京仏壇を。

仏壇 あとう

日本で二番目に歴史の古い佐竹商店街に、創業九〇年を超える老舗「仏壇 あとう」がある。

ここで扱う東京仏壇の魅力は、素材である木の良さを引き出したシンプルな装飾。その技術の高さと希少性から、東京都の伝統工芸にも指定されている。紫檀や黒檀など、釘も打てないほど硬く上質な木材を、何年もかけて自然乾燥させたのち、数カ月費やし熟練の技で仕上げていく。ぴたりと合った木目からは確かな技術が伝わってくる。仏壇は「ご先祖様が住む家」であるからこそ、職人は目に見えない箇所であっても一切手を抜かないのだという。「ご先祖様への感謝を表すことで、家族とのつながりを感じられるのが仏壇の良さです。求める形は人それぞれ、百人いれば百通りの形があります。お客さまと十分に対話して、自然と手を合わせたくなるような仏壇を選んでいただければ」そう語るのには三代目の阿藤広行さん。その想いは四代目稔さんが受け継いでいく。



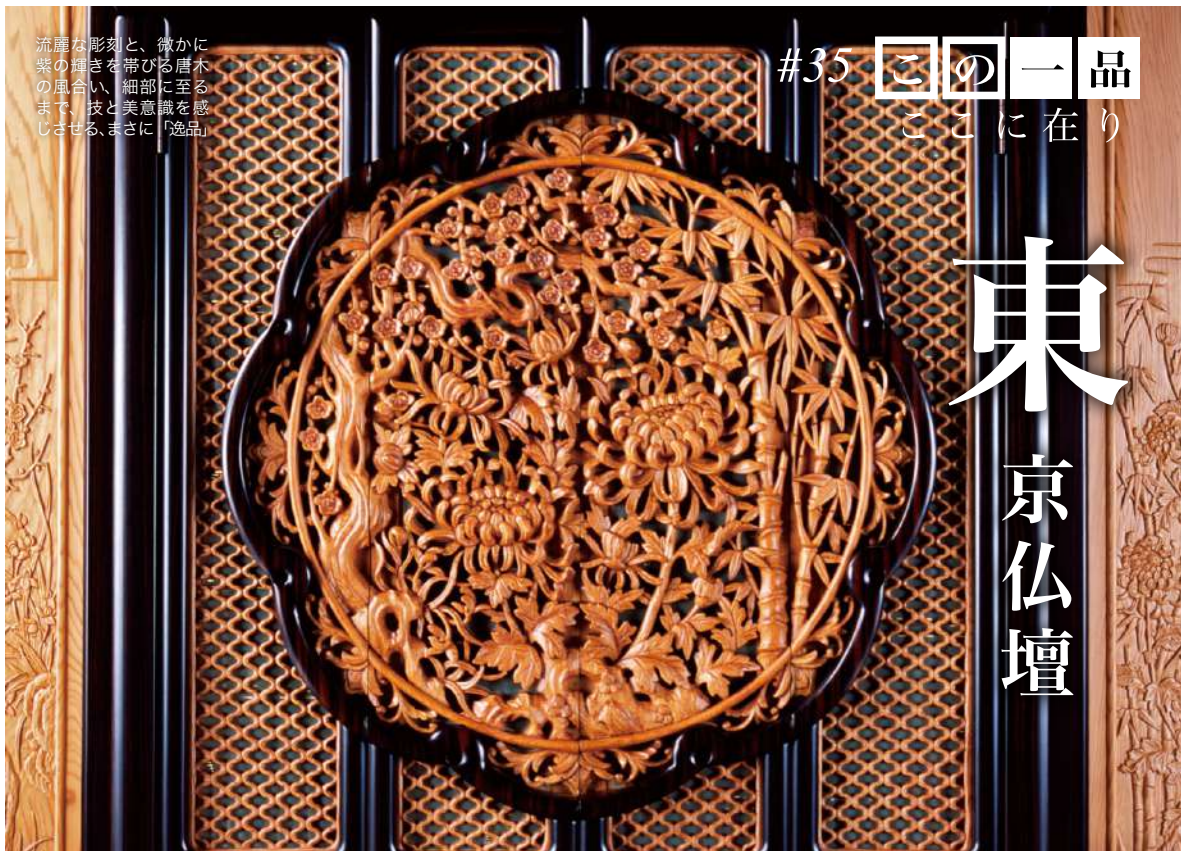
仏壇 あとう

(本店ショールーム)
東京都台東区台東 3-27-11
☎ 03-3835-8777
(小島店ショールーム)
東京都台東区小島 2-6-3
☎ 03-3851-4440
<http://www.atou.co.jp/>

流麗な彫刻と、微かに紫の輝きを帯びる唐木の風合い、細部に至るまで、技と美意識を感じさせる、まさに「逸品」

#35 **この一品**
ここに在り

東京仏壇



先代・阿藤忠保さんによる、屋久杉の仏壇。圧倒的な佇まい



佐竹商店街の中にある本店。修理やリフォームの相談も受け付けている

お仏壇のこと、本当に知っていますか？ 江戸の美意識がそっと漂う、これが「東京のお仏壇」

日本全国、地方によって文化や習慣が異なるように、仏壇の姿も地域によって少しずつ異なるのだということ、知っている方は意外と少ないのではないだろうか。黒檀や紫檀などの高級な木材を用いた、いわゆる唐木の仏壇は明治以降、各地で作られているが、特に東京において作られたものは、華美に飾ることを野暮とする江戸の気風を反映し、鍔金具などの装飾をあえて用いない、洗好みの美意識が反映されたものとなっている。これを「東京仏壇」と呼び、伝統工芸品にも指定されている。

唐木の仏壇を創り出す技術を習得するには、長い年月が必要であり、近年は職人の数も減少傾向にあるが、東京仏壇が持つ洗練された美しさを愛する人は今も多い。

台東区の歴史ある佐竹商店街で、

90年以上に渡って仏壇店を営んできた「あとう仏壇製作所」の先代、阿藤忠保さんも、東京仏壇に携わる優れた伝統工芸士として腕を振った人だった。三代目の広行さんは『自然に手を合わせる気持ちになれるものが、本物の仏壇だよ』という先代の言葉を、今も大切にしている。

あとう仏壇製作所を訪れる人々は、お仏壇の新調やリフォームの相談はもちろんのこと、日々の仏具を買い求める方から、仏事のちょっとした問い合わせに来る方まで様々。どんな質問にも、気さくな笑顔で対応する阿藤さんの佇まいに、この店が長年に渡って厚い信頼を寄せられてきた理由を見る思いがする。

実は「知らないことだらけ」かもしれない仏壇のこと。安心して相談できる仏壇店があるのは良いものである。



本店ショールーム
東京都台東区台東 3-27-11
TEL 03-3835-8777
小島店ショールーム
東京都台東区小島 2-6-3
TEL 03-3851-4440
<http://www.atou.co.jp/>